

## 第2回 横浜港・川崎港カーボンニュートラルポート（CNP）形成推進会議

### 議事概要

#### 会議概要

日時：令和3年9月28日(火) 11:00~12:00  
会場：関東地方整備局 131・132 会議室

#### 議事内容

##### ○事務局から説明

- ・国土交通省における検討状況について
- ・WGの検討状況について
- ・各ターミナルのCO<sub>2</sub>排出量の内訳と取組案について
- ・新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の委託事業について
- ・CNP形成に向けたロードマップ素案について

##### ○WGの検討状況について

- ・「モビリティ」「燃料サプライチェーン」「新産業」の各検討テーマについて、これまでのWGにおける検討状況を事務局から報告、報告内容をもとに意見交換をおこなった。具体的な報告内容は以下の通り。
- ・「モビリティ」：陸上電源供給設備導入に向けた課題や必要な条件、燃料電池の技術動向等
- ・「燃料サプライチェーン」：カーボンニュートラル燃料供給に関する現状、更なる供給体制構築に向けた課題
- ・「新産業」：ブルーカーボンに関する各港での取組状況、メタネーションに関する企業の取組状況、港湾工事施工時における低炭素・脱炭素化に関する課題や今後の方向性
- ・意見交換においては、取組を重点化していくことの必要性や取組を目に見える形でおこなっていくことの重要性などの指摘があった。

##### ○各ターミナルのCO<sub>2</sub>排出量の内訳と取組案について

- ・コンテナターミナル等におけるCO<sub>2</sub>排出量の内訳（試算）を提示した。試算結果に基づき、CO<sub>2</sub>排出量の多い項目（排出源）の削減対策案について、技術開発や導入状況に関する情報を共有し、今後の取組について意見交換をおこなった。

##### ○新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の委託事業について

- ・横浜市、川崎市が関係する「横浜港におけるカーボンニュートラルポート形成に向けた水素利活用システム検討調査」および「東京湾岸エリアにおけるCO<sub>2</sub>フリー水素供給モデルに関する調査」の概要について共有し、今後の進め方について意見交換をおこなった。

##### ○CNP形成に向けたロードマップ素案について

- ・2030年温室効果ガス46%削減への貢献や2050年カーボンニュートラルの実現のため、横浜港・川崎港CNP形成に向けた今後の取組内容や取組時期を、「モビリティ」、「燃料サプライチェーン」、「新産業」の検討テーマ毎に整理したロードマップ（素案）について意見交換をおこなった。
- ・ロードマップについては、関連する技術開発の動向や予算、法制度の状況を踏まえながら、今後順次更新していくことを確認した。

以上